

2022 年卒
Vol.07

5月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活 2022 学生モニター調査結果 (2021 年 5 月発行)

企業の採用広報開始から 2 カ月。学生の就職活動はどのように進んでいるだろうか。5 月 1 日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行った。内定率は 6 割に迫る高水準ながらも、厳しさを痛感する学生が多いことも分かった。

内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 5月1日時点の内定状況

- 内定率は 58.4%。前年同期実績 (50.2%) を 8.2 ポイント上回る
- 内定企業の 6 割強 (61.8%) が「インターンシップ参加企業」

2. エントリー状況、選考試験受験状況

- 一人あたりのエントリー社数の平均は 27.1 社。1 カ月間で 2.7 社増加

3. 現時点での就活難易度

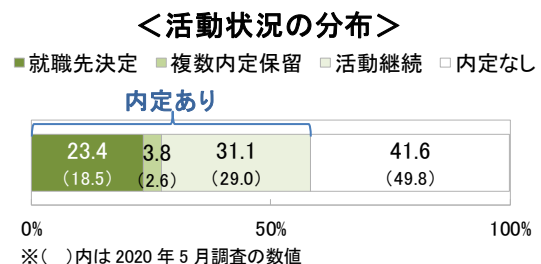
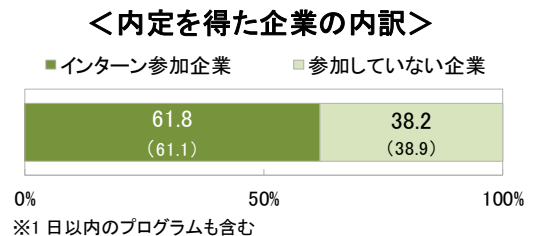
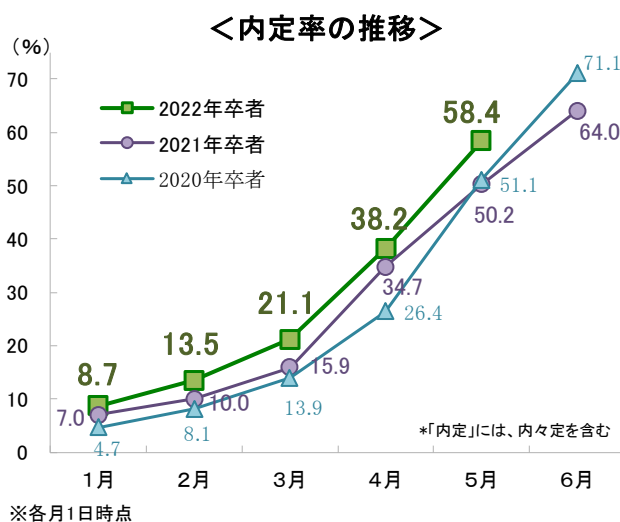
- 自身の就職活動「厳しい」が過半数 (54.3%)。「やさしい」は 1 割程度 (12.3%)

1. 5月1日時点の内定状況

5 月 1 日の調査時点で内定を得ている学生は全体の 58.4%。先月 (4 月 1 日、38.2%) からの 1 カ月間に約 20 ポイント上昇し、前年同期 (50.2%) を 8.2 ポイント上回った。前年はコロナによる初めての緊急事態宣言発令で、採用活動が停滞していた中での数字であり、そのぶん差が大きく出た格好だ。

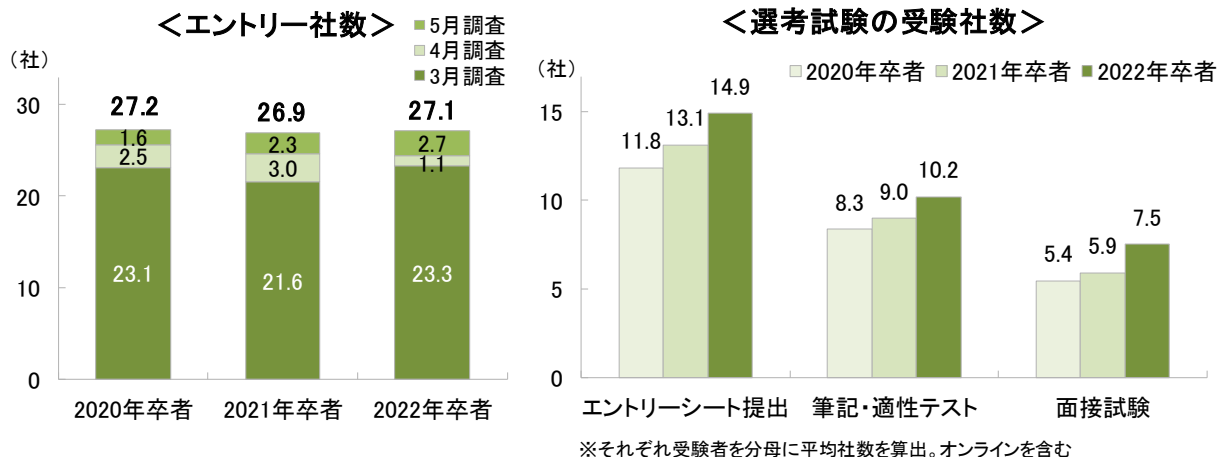
内定企業の 6 割強 (61.8%) がインターンシップ (※) に参加した企業。月を追うごとに比率は下がってきたものの、依然としてインターン企業からの内定が中心だ。(※1日以内のプログラムも含めて調査)

内定率は 6 割に迫るが、内定取得学生の多くが就職活動を継続していると回答。未内定者をあわせて全体の 7 割以上が活動中だ。内定の有無によらず多くの学生にとって、やはり選考解禁の 6 月が正念場になりそうだ。



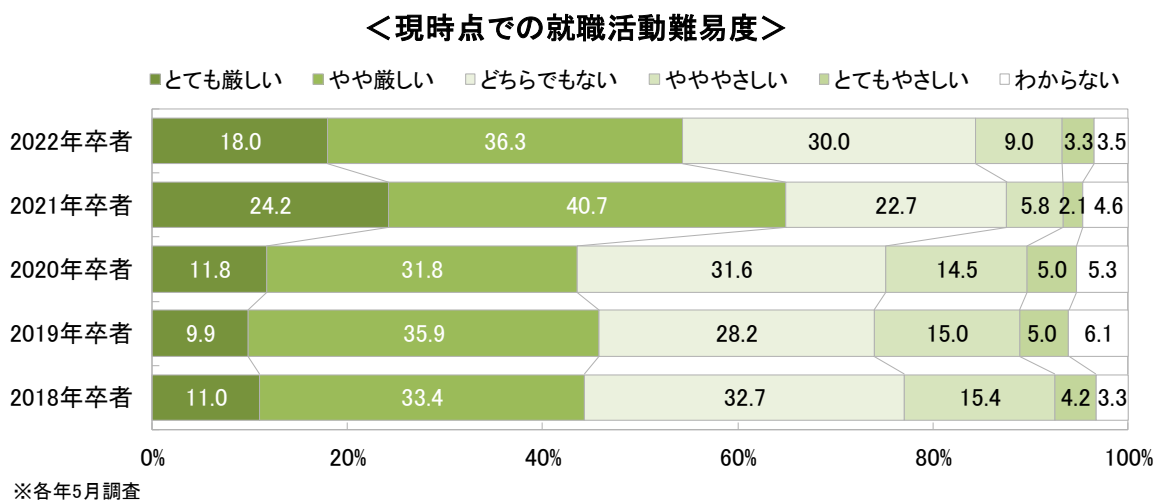
2. エントリー状況、選考試験受験状況

先月調査で鈍化が著しかったエントリー社数に伸びが見られる。この1カ月で平均2.7社増え、27.1社となった。選考試験の受験社数を見ると、筆記試験、面接試験など前年同期実績を上回るペースで進んでいる。それにより、早くも当初志望していた企業に落ちてしまい、新たな企業に目を向ける学生も一定数出たことが推測できる。



3. 現時点での就活難易度

ここまでの就職活動の感想を尋ねた。「とても厳しい」(18.0%)、「やや厳しい」(36.3%)で、内定率は高水準ながらも、過半数が「厳しい」と回答(計54.3%)。「やさしい」(計12.3%)を大幅に上回った。初の緊急事態宣言下で大きな混乱が生じていた前年よりは和らいだものの、「志望度の高い企業ほど選考に通らない」「想定よりも早い段階で持ち駒企業が減ってきた」など、思うように進まない苦しさを訴える声が多く寄せられた。



調査概要

- 調査対象 : 2022年3月に卒業予定の大学4年生(理系は大学院修士課程2年生含む)
- 回答者数 : 1,273人(文系男子437人、文系女子355人、理系男子342人、理系女子139人)
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2021年5月1日~6日
- サンプリング : キャリタス就活2022学生モニター